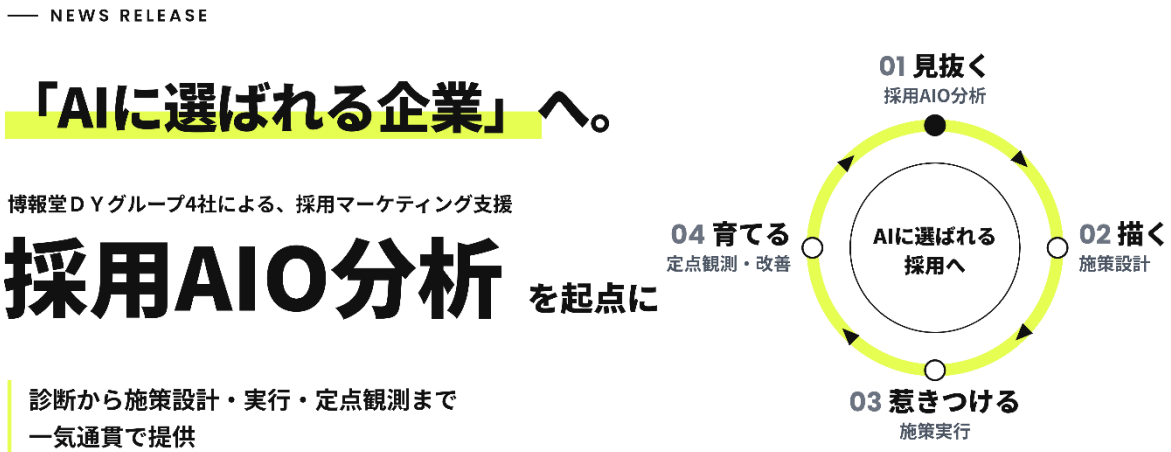
News Release

2026年11月13日
株式会社Hakuhodo DY ONE
株式会社博報堂
株式会社博報堂アイ・スタジオ
株式会社No Company

博報堂ＤＹグループ４社、AI に選ばれる企業になるための グループ独自の「採用 AIO 分析」を起点とした採用マーケティング支援を開始

～AI検索での見え方の診断から、施策設計・実行・定点観測まで一貫して提供～

株式会社Hakuhodo DY ONE（本社：東京都港区、代表取締役社長：北爪宏彰、以下 Hakuhodo DY ONE）、株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：名倉健司、以下 博報堂）、株式会社博報堂アイ・スタジオ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO 兼 CCO：水野崇、以下 博報堂アイ・スタジオ）、株式会社No Company（本社：東京都港区、代表取締役社長：秋山真、以下 No Company）の博報堂ＤＹグループ4社は、博報堂自社の採用で先行実施した分析の知見をもとに、AI検索で自社の採用情報がどう扱われているかを診断する博報堂ＤＹグループ独自の「採用AIO分析」を起点に、施策設計、実行、定点観測までを一貫して提供する採用マーケティング支援を開始いたします。



共同提供 Hakuhodo | Hakuhodo DY ONE | Hakuhodo i-STUDIO | NO COMPANY

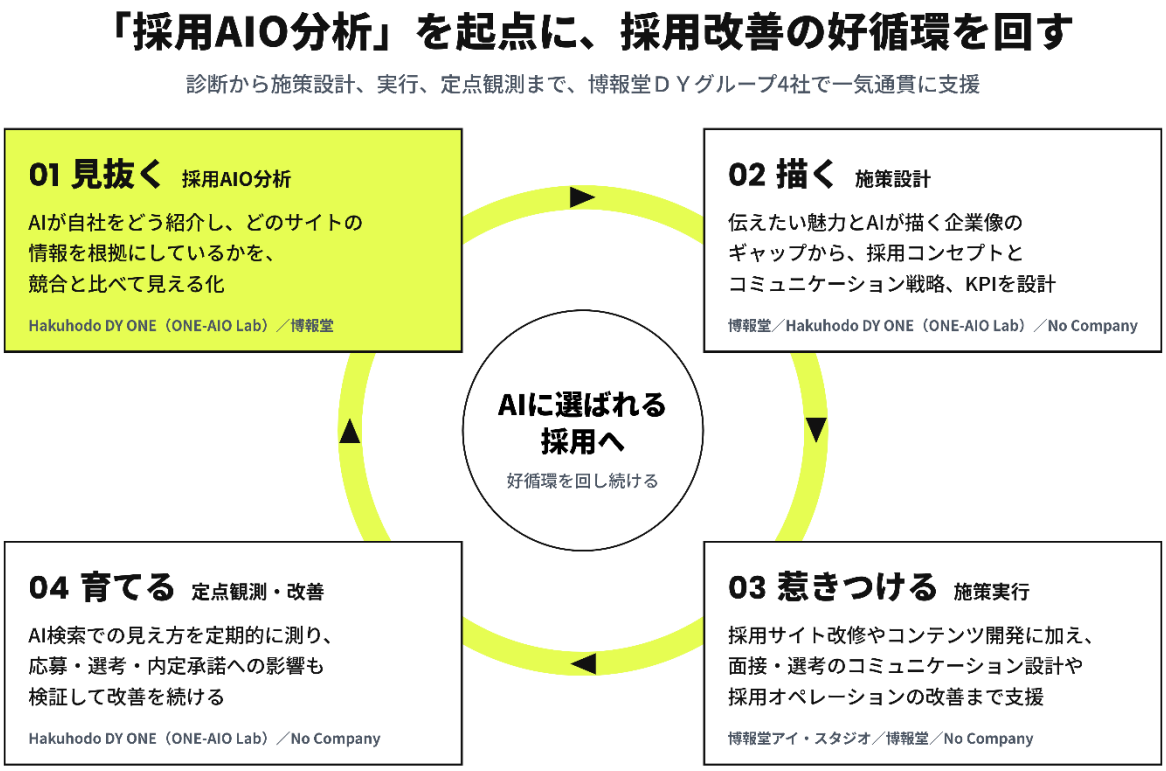
■背景

就職・転職活動において、多くの求職者が ChatGPT や Google の AI 検索（AI Overviews）などを活用して企業研究をおこなう時代を迎えています。博報堂ＤＹグループ内で実施した実態調査＊で

は、採用情報の 7 割以上が自社オウンドメディアではなく第三者サイト経由で AI に参照されている状況も明らかになっています。本取り組みでは、複数の AI エンジンにおける自社の引用状況や競合との見え方の違いを「採用 AIO 分析」で可視化し、その結果をもとに「AI で調べる」から「入社を決める」までの採用マーケティング活動を支援することで、企業が「AI に選ばれる企業」になることを後押しします。

＊ 調査概要は本リリース末尾に記載

■提供内容：「採用AIO分析」を起点に、診断から定点観測まで一貫して支援
　博報堂ＤＹグループ4社がそれぞれの専門性を持ち寄り、次の4つのステップで採用改善の好循環づくりを支援します。



STEP 1｜診断「採用AIO分析」　“見抜く”（実施期間：約3週間）
求職者が企業研究の各段階でAIに尋ねそうな質問を用意し、AIが自社をどのように紹介し、どのWebサイトの情報を根拠にしているかを、競合と比べて見える化します。（Hakuhodo DY ONE「ONE-AIO Lab」、博報堂）

STEP 2｜施策設計　“描く”
診断結果をもとに、企業が伝えたい魅力とAIが形成する企業像、求職者が求める情報とのギャップを明らかにし、採用コンセプトや採用コミュニケーション戦略を設計します。AIにも求職者にも正しく魅力が伝わる情報設計をおこない、打ち手の優先順位とKPIを明確にします。（博報堂、Hakuhodo DY ONE「ONE-AIO Lab」、No Company）

STEP 3｜施策実行　“惹きつける”

「AIフレンドリーな採用サイト」への改修や、AIと求職者の双方に響くコンテンツの開発に加え、面接・選考におけるコミュニケーション設計や採用オペレーションの改善など、求職者が企業を認知してから応募・選考・内定承諾に至るまでの体験を一貫して設計・支援します。（博報堂アイ・スタジオ、博報堂、No Company）

STEP 4｜定点観測・改善　“育てる”

AI検索における自社の見え方や引用状況を定期的に測定するとともに、応募・選考・内定承諾などの採用活動への影響も検証し、継続的な改善につなげます。（Hakuhodo DY ONE「ONE-AIO Lab」、No Company）

■「採用AIO分析」の3つの特長

「採用AIO分析」は、博報堂ＤＹグループ独自の分析フレームワークを用い、「自社がAIにどのように引用されているか」「競合企業とどう比較されているか」を定量的・定性的に診断する、採用活動の起点となるソリューションです。AI検索におけるブランド戦略の設計と、事業成長の支援を専門とするAIO（AI最適化）研究開発組織「ONE-AIO Lab」※1の知見や博報堂自社の採用での先行分析で得たノウハウを活用し、実際の求職者が投げかけるような自然な質問（50～100問程度を想定）を複数のAIエンジンに投げかけ、回答を多角的に分析して、企業が設定した採用コンセプトとAIが形成する企業像とのギャップを明らかにし、改善に向けた優先順位を明確にします。

【本診断で把握できる3つのポイント】

1. AI検索における自社の見え方・被引用実態

複数のAIエンジンが自社情報をどのように抽出し、どのような企業像として求職者に提示しているかを把握できます。

2. 競合比較とポジショニング（指名 vs 非指名）

業界内での自社の想起率や競合との見え方の差分を分析します。特に「社名指定（指名検索）」と「業界・職種キーワード（非指名検索）」での出現率の違いを明確にします。

3. 改善アクションの優先順位化

AIが引用しやすい情報構造や不足しているデータ、ネガティブな表示要素を特定し、採用サイト改修やコンテンツ補強に向けたロードマップを提示します。

■展望

今後も、博報堂ＤＹグループ4社は、博報堂ＤＹグループの横断的なAI専門家集団「HCAI Professionals」の活動として、長年培ったマーケティング・ブランディングの知見と採用領域の専門性を融合させ、AI時代における企業の採用競争力向上に貢献してまいります。

※1「ONE-AIO Lab」：AI 検索におけるブランド戦略の設計と、事業成長の支援を専門とする AIO（AI 最適化）の研究開発組織。ブランド情報の可視化や AI 回答の評価、情報発信戦略の策定・効果検証、検索アルゴリズムの研究を推進しています。企業が最適な情報発信戦略を策定するためのより高度なソリューションを開発・提供し、AI 時代における企業のブランド価値向上と持続的な成長に貢献しています。
参照：Hakuhodo DY ONE リリース
https://www.hakuhodody-one.co.jp/news/news-release_202510024343/

以上

【本件についてのお問い合わせ】

株式会社Hakuhodo DY ONE 広報担当　E-mail：info-pr@hakuhodody-one.co.jp
株式会社博報堂　広報室　三矢・高橋・和田　koho.mail@hakuhodo.co.jp
株式会社博報堂アイ・スタジオ 広報担当　E-mail：cp-pr@i-studio.co.jp
株式会社No Company 広報担当　E-mail：pr@no-company.co.jp

＜参考資料＞

■博報堂ＤＹグループ4社 会社概要

【株式会社Hakuhodo DY ONE】
博報堂ＤＹグループのデジタルマーケティング会社として、デジタルマーケティング全般にまつわる企画・コンサルティング・代行事業を手がけています。2025年10月には、AI検索におけるブランド戦略の設計と、事業成長の支援を専門とするAIO（AI最適化）研究開発組織「ONE-AIO Lab」を設立しました。
URL：https://www.hakuhodody-one.co.jp/

【株式会社博報堂】
博報堂は、ブランディング、クリエイティブ、メディア、デジタルなど、企業コミュニケーション全般を統合的に支援する総合広告会社です。生活者発想とパートナーシップを哲学に、クライアント企業の課題解決に取り組んでいます。
URL：https://www.hakuhodo.co.jp/

【株式会社博報堂アイ・スタジオ】
博報堂ＤＹグループのデジタルクリエイティブ会社です。オウンドメディアを中心に、データにもとづく顧客体験（CX）設計からデザイン、システム開発、運用までを一貫して手掛け、企業の「ブランド・顧客創造」を支援します。また、自社事業による新しい価値創出にも取り組んでいます。
URL：https://www.i-studio.co.jp/

【株式会社No Company】
2021年、博報堂ＤＹグループ初の採用マーケティング支援専門企業として設立。累計150社以上の支援実績を持ち、「スタイルマッチ（＊）」を軸に、面接官・リクルーター研修、選考プロセスや採用オペレーションの改善、組織内への価値観の浸透施策まで、戦略設計から現場での実行・運用まで一貫して支援しています。
（＊）価値観や行動様式をもとに企業と求職者がマッチングしている状態
URL：https://www.no-company.co.jp/

■実態調査の概要
調査時期：2026年9月
調査方法：ChatGPT・Geminiに採用関連の質問を入力し、回答の根拠として引用されたWebサイトを分析
調査主体：博報堂ＤＹグループ